

新国立劇場夏季における節電計画について

今夏の電力需給対策として、5月13日に、政府の節電実行基本方針が出された。これに沿って、新国立劇場では、以下のとおり節電計画を実施したい。

1. 政府の基本方針概要

(1) 対象者

契約電力500kw以上（1時間単位）の大口需要家
（新国立劇場は2,400kw）

(2) 期間・時間帯

平成23年7月1日～9月22日
平日の9時～20時

(3) 具体的内容

昨年の上記期間・時間帯における使用最大電力の値（1時間単位）の15%削減した値を使用電力の上限とする。

新国立劇場数値目標：

昨夏ピーク時1,817kw（H22/7/15）×0.85(15%削減)=1,544kw
（△273kw削減）

2. 新国立劇場の使用電力構成

新国立劇場の昨年度の使用最大電力は2,002kw（H22/5/20記録）であったが、その際の使用電力構成は次の通りであった。その結果、空調設備の電力が全体の約50%弱を占めていることが判明した。

- | | | |
|------------------|-------|---------|
| ① 空調換気設備動力 | 950kw | (47.5%) |
| ② 給排水衛生・昇降機設備動力 | 150kw | (7.5%) |
| ③ 照明・コンセント | 500kw | (25.0%) |
| ④ 舞台設備（機構、照明、音響） | 400kw | (20.0%) |

3. 昨年度の使用最大電力時（2,002kw）、昨夏のピーク時（1,817kw）、今年度4月から現在までの最大電力時（1,520kw）を記録した際の、劇場の利用状況等別紙参照。

4. 節電にかかる具体的取組

本年4月以降、以下により節電を行った結果、今年度これまでの使用最大電力は4月13日の1,520kwであったが、この数字は、有効空地の空調設備を停止(41kw)、及び機械室の換気停止(28kw)を行った結果であるので、実質上これらの数字を差し引いた約△228kw(昨夏ピーク時の12.5%相当)の削減が行われたと予測できる。これまでの取組に対して、消灯可能な場所、点灯すべき場所を再検証した上で、引き続き実施してまいりたい。

* 4月13日の削減予測：

$$1,817\text{kw} - 1,520\text{kw} - (41\text{kw} + 28\text{kw}) = 228\text{kw}$$

(1) 照明

① 役員室、事務室(手元スイッチで操作)

役員室は1/2消灯(4月9日に1/2減灯)

事務室は1/2消灯(最後に退館する職員は必ず消灯する)

② 事務棟の廊下(防災センターで操作)

楽屋口廊下は2/3消灯

1階、4階、5階の事務棟廊下は、昼は全灯消灯、夜は2/3消灯

※ 各劇場の楽屋廊下、稽古場廊下は各事務所の手元スイッチで操作

③ 屋上ネオンサイン、街灯(防災センターで操作)

昼夜問わず、全灯消灯

舞台・客席廻り、楽屋廻り、稽古場廻りの照明は技術部が手元スイッチで操作するのでそれ以外のエリアは以下のとおり

○ 3つの劇場のいずれも公演のない日(含む舞台稽古)

ア 終日

・オペラパレスのプロムナード ⇒ 全灯消灯

・サブエントランス ⇒ 全灯消灯

1階情報コーナーの一部は従前どおり点灯

イ 朝から夕方まで

・正面エントランス、人形のあるギャラリー ⇒ 全灯消灯

※ 3階レストランへの通路は、昼夜を問わず2/3消灯

ウ 夕方からpm11:30まで

・正面エントランス ⇒ 1/2消灯

- ・地下1階、1階、2階の池照明 ⇒ 全灯消灯
 - ・地下1階サンクンガーデン（通路部分は除く） ⇒ 全灯消灯
 - ・1階中劇場テラスガーデン ⇒ 全灯消灯
 - ・サブエントランス側出入り口 ⇒ 2／3消灯
 - ・2階中劇場モギリ前は点灯
- エ pm 11：30から朝まで
- ・非常用照明（階段灯、避難誘導灯）のみ

○ 3つの劇場のうちいずれかの劇場で公演がある日（主催公演、貸劇公演を問わず）

ア 朝から夕方まで

- ・正面エントランス、人形のあるギャラリー
 - ⇒ 正面エントランスは1／2消灯、人形ギャラリーは全灯消灯
- ・オペラパレスで公演がある場合
 - ⇒ ホワイエは公演前、公演中にかかわらず2／3消灯（モギリで操作）
 - ⇒ オペラパレスのプロムナードは1／2消灯
- ・中劇場で公演がある場合
 - ⇒ 正面エントランスのハイサイド照明は消灯
 - ⇒ ホワイエは2／3消灯（モギリで操作）
- ・小劇場で公演がある場合
 - ⇒ 従前のおり全灯点灯（モギリで操作）
- ・正面エントランス等の点灯時間は、開演1時間前から終演後1時間以内までとする。（営業部担当から休憩を含め防災センターにその都度連絡）

イ 夕方からpm 11：30まで

- ・正面エントランス
 - ⇒ ボックス前、風除室の照明は1／2に消灯
- ・人形のあるギャラリー
 - ⇒ 全灯消灯
- ・オペラパレスで公演がある場合
 - ⇒ ホワイエは、公演前は全灯点灯、公演中は2／3消灯（モギリで操作）
 - ⇒ テラスガーデンの手摺り灯は全灯点灯
 - ⇒ 中劇場のクローク前の廊下は1／3消灯
 - ⇒ オペラパレスプロムナードは1／2消灯
- ・中劇場で公演がある場合
 - ⇒ ホワイエは、公演前は全灯点灯、公演中は2／3消灯（モギリで操作）
 - ⇒ 正面エントランスのハイサイド照明は全灯点灯
- ・小劇場で公演がある場合

- ⇒ ホワイエは、常に全灯点灯（モギリで操作。地下1階であるため）
- ・正面エントランス等の点灯時間は、開演1時間前から終演後1時間以内までとする。（営業部担当から休憩を含め防災センターにその都度連絡）

ウ pm 11：30から朝まで

- ・非常用照明（階段灯、避難誘導灯）のみ

(2) 空調

原則として防災センターで操作するが、役員室、会議室、情報センターの一部、制作部は手元スイッチで操作する。

① 事務棟

冷房温度の設定を28℃にする。26℃から2℃上げる。

② 建物内の有効空地

- ・公演のない日は、空調を停止する。（ただし、票券事務室とサブエントランスエリアについては空調システムが同じなので、停止はしない。）
- ・公演（トークイベント含む）のある日は、空調を28℃設定で運転する。

③ 仕込み、公演中の舞台及び客席内、リハーサル室内は適温により設定する。

④ 主催公演において、搬入又は搬出する際、各劇場の客席エリアを除いた舞台系エリアのみ空調運転する。（緞帳を降ろす）

⑤ 貸劇公演は、照明を含め、主催者に節電方、理解と協力を求める。

⑥ 正面エントランスの扉は、できる限りこまめに開閉する。

(3) エレベータ

事務棟にある1号機及び2号機のうち1号機を、観客等が利用する4号機及び5号機のうち4号機をそれぞれ停止する（障害者用ではないEV）。

(4) エスカレータ

正面エントランス前のエスカレータは、初台駅のエスカレータが停止しているときは、連動して停止する。

公演（トークイベント含む）がある場合は、開演の1時間前及び終演後の1時間は稼働させる。（営業部担当から防災センターにその都度連絡）

(5) 自動販売機

建物内に20台あるが、全て照明を消灯する。

(6) ウォシュレット

建物内の21台の便座の暖房機能は切る。

(7) 地下駐車場

1日中車室の照明は消灯し、通路部分のみの照明にする。

(8) コピー機

同一フロアに複数あるコピー機は、1台を共同利用とし、他のコピー機のコンセントを抜く。

(9) 公演開演時間の変更

公演時間をずらす等により、最大需要時間（2時から3時）を避け、節電に資する（政府の基本方針前に決定）。

7月24日（日）「バレエアステラス」

中止する。（文化庁で協議済み。）

7月30日（土）～31日（日） 地域招聘公演「鳴砂」

2：00→3：00開演

9月20日（火）～10月10日（月・祝）「朱雀家の滅亡」

マチネ公演1 2：00開演とする。

9月30日（金）～10月1日現代舞踊「中村×首藤」

マチネ公演2 2：00→6：00開演

5. 空調系統節電レベル設定（空調停止順位）

上記4の対応だけでは、今夏の劇場及びリハーサル室の使用状況によっては、電力数値目標を上回る可能性がある。そのため、現在実行している節電策に加えて、空調設備においても節電対策を講じる必要がある。

具体的には、1,500kwを超える見込みが立ったときは、各空調系統を節電レベルに分類し、中央監視盤による使用電力監視値に応じて、節電レベル単位で空調停止を発令する。（伝達方法：防災センター→施設課→各関係部署。）

節電レベルの設定に当たっては、①公演内容の質と安全の確保、②観客エリアのアメニティは可能な限りの確保、及び③劇場の機能障害となるベース電力（サーバー室の24時間空調など）は設定から外すことを前提にし、さらに、空調停止に伴い発生すると思われる気流の乱れや温度差の発生などの実証実験を行った結果、以下の節電レベルを設定した。

レベル1

停止1	共通ロビー下部		△15kw
	組立場		△11kw
停止2	中劇場	フライタワー	△18.5kw
	中劇場	奈落	△5.5kw
停止3	オペラ	フライタワー	△30kw
	オペラ	奈落	△5.5kw
	計		△ 85.5kw 削減

レベル2

停止1	空調設備と個別空調が併用されている5F事務室	△7.5kw
	エントランスロビー	△7.5kw
停止2	楽屋ロビー	△7.5kw
	オペラプロムナード	△18.5kw
停止3	オペラ 衣裳保管庫	△2.2kw
	計	△ 43.2kw

レベル3

	共通ロビー上部	△ 18.5kw
	合 計	△ 147.2kw

停止不可

公演中の舞台・客席、電算室、フロントサイト投光室、舞台制御盤室、音響機器室、リハーサル室

6. 実質的な節電効果は必ずしも大きくないが、節電をアピールする対策

以下についても取り組んでいきたい。

- (1) ブラインドの適切な調整
- (2) クールビスの徹底
- (3) 使用していないOA機器の電源プラグを抜くなどによる待機電力の削減
- (4) 執務室で使用する冷蔵庫、電気ポット、コーヒーマーカーの集約化

7. 電力使用状況の公開

電力使用状況については、原則として前日の使用最大電力をメールなどを活用して、職員向けに節電意識を高めるとともに、対外向けにもHP等で公開する。

以上